

“数字”から“子ども”が見えた後は…
カラフルな授業改善は、つながるところから始まる

2学期のスタートに向けて…

学力向上・研究パッケージと協働する授業づくり

7/28（月）授業力向上講座①（社会）（I3004）

講師：宗實 直樹 先生

個別最適な学びとは？「自己選択・自己決定」「自立的な学習者の育成」についてお話がきけます。社会の実践ですが子どものつなぎ言葉や問いの分類等、はどの校種・教科の先生にとっても大切！おすすめです。



7/28（月）スキルアップ研修講座①（I3019）

講師：立正大学 教授 鹿嶋 真弓 先生

幼児期の子どもたちが持つ「問い」を活かし、やる気を引き出す方法や主体的で対話的な学びの仕組みについて考えます。「問い」づくりについても学びます。

7/28（月）授業力向上講座②（算数・数学）（I3005）

講師：中部大学 准教授 樋口 万太郎 先生

子ども一人ひとりの学びに寄りそう授業とは？

また、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実の具体的な授業展開、単元構成は？樋口先生と考えませんか？



8/1（金）授業力向上講座④（理科）（I3007）

講師：福島大学 教授 鳴川 哲也 先生

講師の鳴川先生は文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の経験を生かし理科教育について取り組んでおられます。幼児教育も小学校も中学校も…日常の中にある理科について考えてみませんか？

8/1（金）授業力向上講座⑤（子どものみとり（評価））（I3008）

講師：兵庫大学 教授 岡田 広示 先生

樋口先生とセミナー共演もある岡田先生が伊丹に！岡田先生は幼児期からの架け橋期にも関わりが…（※今回は子どもを軸とした評価についてです）まだ間に合います！

学校や学年、教科の傾向も踏まえ
学習指導の充実・学習状況の改善に多様なデータ活用を

ぴったりの先に、
学びの森がある…



木（個）だけでなく、森（全体）も見ろしくみで カラフルな学びの根っこをつくる

「子ども」が情報を正しく使うことが重要な時代。「教員」も収集した情報の活用が求められています。

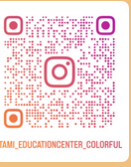
全国学力・学習状況調査の強みや課題を考えるためには、私たちがデータの見方を知り、教育を考える対話の場を校種や教科をこえ、持つことが重要であると総合教育センターは考えています。

最新のデータと教員の思いを組み合わせ、より最適な教育の実現をこの夏共に目指しませんか？

数字の向こうに、
子どもがいる。



子どもの”ぴったり”な学びどう見つける？ ”ぴったり”な学びをチームで届ける



子ども

個別に最適で効果的な学びや支援
個々の状況を客観的に把握



経験知×科学的視点のベストミックス
経験・勘・気持ち×検証・根拠・科学

先生



校内研究・授業改善の推進に！



学力向上プラン作成に！

授業づくりの可視化 そもそも教育ってなんだろう？

7/30（水）教育課題対応研修講座② 13：00-14：30

一般社団法人 School Transformation Networking（ScTN）
代表理事 山口 裕也 氏

「そもそも教育ってなんだろう？」を出発点に、子どもの学びをどう捉え、授業をどう変えていけばいいのかを考えます。

「ScTN（スクタン）質問紙」をデータ活用だけのためではなく、私たちが教育を通じてめざすものは？なんのためにデータを取得するの？

全国学力・学習状況調査 結果の前に…データ分析法共有できてますか？

7/29（火）情報教育研修会

内田洋行教育総合研究所

主任研究員 堀越 泉 氏 他

データを校内で共有する際、見方や分析方法について共通理解はありますか？調査に関わる「内田洋行」の堀越泉先生を含む4名の研究員をお招きし、知見に基づくワークショップを開催します。
学力調査・質問紙のデータ分析方法や有意な数字について詳しく解説します。

データに基づく



対話

を重視した授業改善

中学校ブロックでワークショップ型研修実施！ ※その他の講座でも一部実施予定

センターに来れば、その場で自然に「校種間連携」ができる！（小中一貫・学びの連続性）

子どものウェルビーイングにつながる授業改善を共に考えられる！（カラフルな教育）

※子どものウェルビーイング実現講座①は「睡眠」と不登校についても扱います（基本的な生活習慣）